

教材教具名 司会進行カード	教科(生活単元)	
---------------	------------	--

教材教具写真



綴じた状態



1枚



プログラム毎

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

- 生徒一人一人が役割を持ち、責任を持ってその役割が果たせること。
- 生徒自身が会を運営できるようになること。

2 発達段階など：ひらがなが読める。

3 使い方

- 会のプログラム毎にカード一枚を用意し、まとめて一冊にする。
- 使用するときは一枚ずつめくっていくことで会の見通しももちやすい。
- そのプログラムを担当する生徒の顔写真も掲載されているので、司会係も呼び出しやすい。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

生徒自身は、司会係に意欲的に取り組むことができました。「マイクを持って話をする」ということが興味関心の原動力のように思えました。司会係は、このカードを読むだけで進行ができるので、とてもスムーズな進行をすることができました。また、多動な生徒も椅子に座らせてこのカードを手がかりにさせることで、落ち着いて司会係を果たすことができ、自信につながったと思います。この形式で司会をすることが定着し、国際交流学習などの様々な司会を必要とする場面で使用することができ、生徒自身で会を運営していくことができるようになってきました。